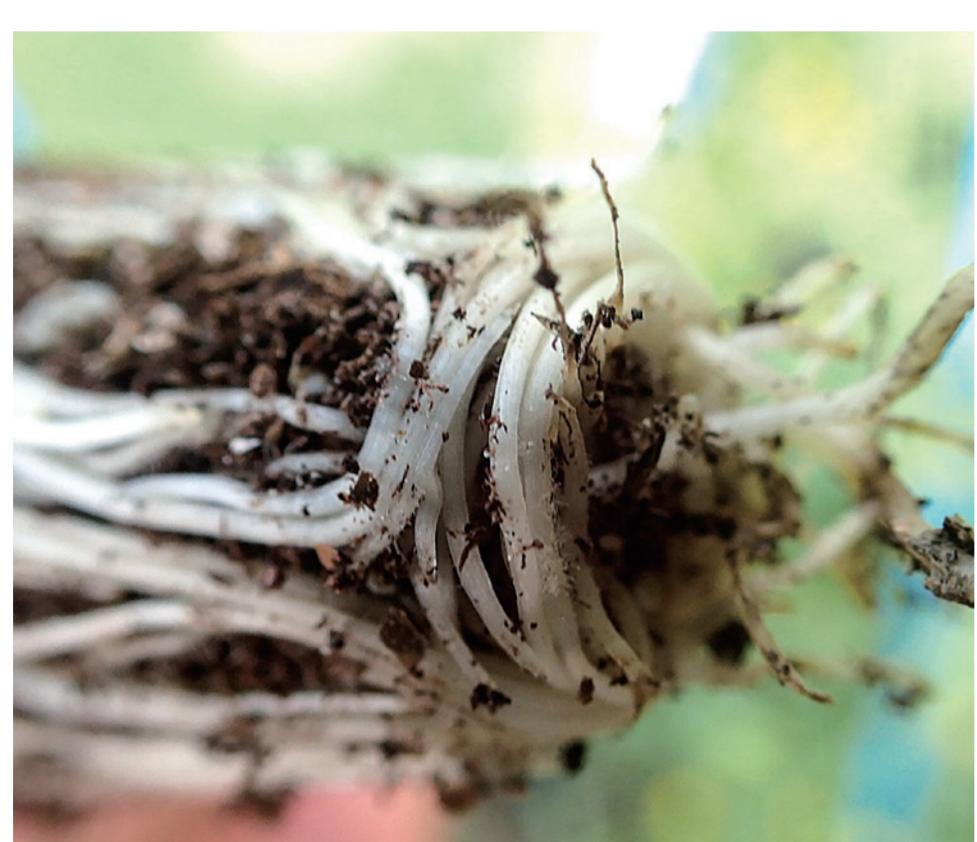


「土壤改良+葉面散布」の時代

●近年の厳しい天候に「葉面散布」の速効性

施肥の基本は「土壤」です。良い土壤環境を作ることが、秀品率を上げるために最も重要です。しかし、近年の厳しい天候や著しい環境の変化からくる被害の予防・回復・軽減には、**葉面散布の速効性が活躍します。**

▼ 苗の養分補給に



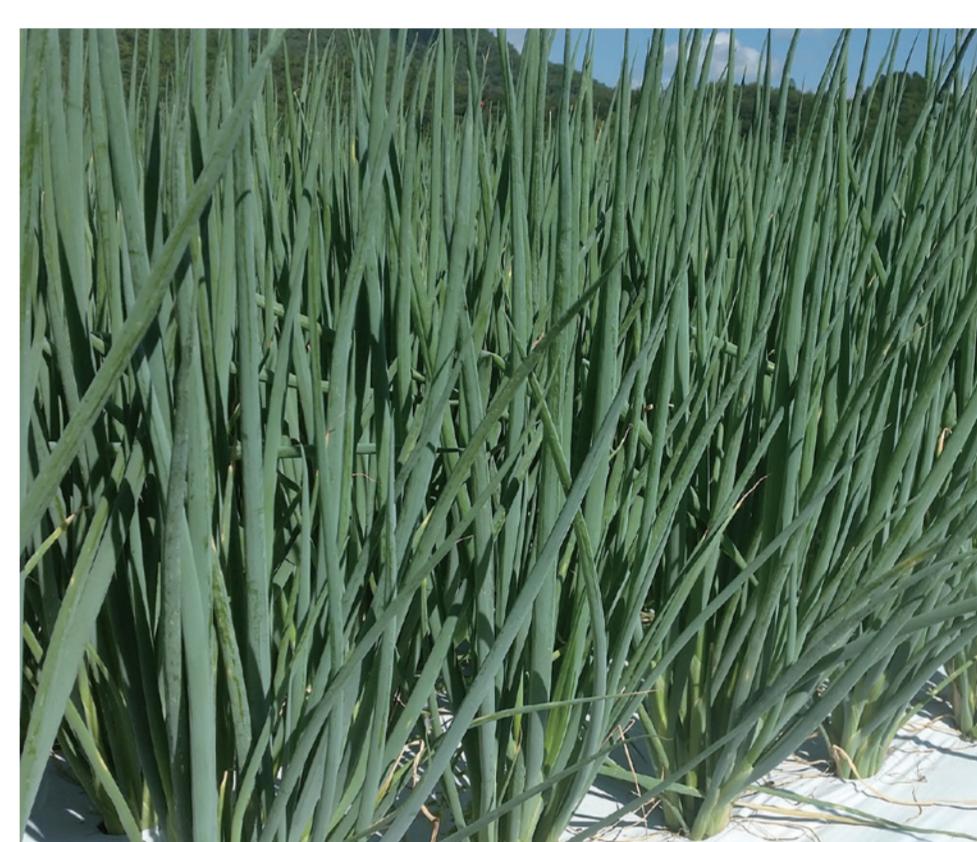
苗の生育も高温と低日照などで通常の管理では、潤沢に養分を吸収できません。「苗半作」という言葉があるように、苗をより良く仕上げる事が、収量確保の大変な一歩です。

▼ 根の活着促進に



野菜の定植直後は、植えた時の根の傷みからしばらく養分を吸収できません。定植直後から葉面散布をおこなうことで、初期生育が旺盛になり、良いスタートダッシュがれます。

▼ 秀品率向上に



収穫期まで定期的に散布することで、高温や乾燥ストレスを緩和します。さまざまな養分を葉からダイレクトに吸収させることで、高品質を維持したまま収量に直結させます。

▼ 花菜類にも



葉面散布の幅広い効果を利用して、花菜類にも苗～生育初期～収穫まで定期散布をおすすめしています。収量のキープはもちろん、さまざまなストレスや生理障害を緩和してくれます。

葉面散布のイメージ

葉・茎からダイレクトに栄養素がすばやく行きわたる

